

農場通信 2024年 8月号

2024/7/30

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容

③ 開始日 ④ 終了予定

① 第4 A

② ココバッグ展示
天敵によるコナジラミ防除試験

③ 2023/8/30 ④ 試験終了

品目	圃場写真①	圃場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

大玉トマト		
次作準備中		【試験結果】 ココバッグ通常タイプ、試作の「ミニ」、ロックウールで比較試験と天敵を使った害虫防除試験を行いました。培地の違いによる収量差は見られませんでした。培地の保水量に応じて給液の頻度を変える必要があることが分かりました。天敵を使ったコナジラミ防除については、秋以降は天敵が十分に定着し、殺虫剤はほとんど使用せずに終盤まで栽培が出来ました。次作は全ハウスに天敵を導入していく予定です。

① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験

③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

① 第4 C

② 大玉トマト品種比較試験

③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

ミニトマト		
		7月末に定植を行いました。 今作は品種の特性ごとに列を分け、目的に合わせて、品種の見学ができる圃場レイアウトとしています。

大玉トマト		
		7月29日に定植を行いました。

① 第4 D ② アールスメロン品種比較試験 ③ 2024/5/9 ④ 2024/8/7

① 第4 E ② イチゴ栽培試験

③ 2023/9/7
2023/9/20 ④ 2024/6/21

アールスメロン		
2024/7/28 状況		7月末に収穫、8月1日に公開調査を行いました。 今年草勢が強く、仕上げ期に入っても株の老化が遅れ、糖度が乗りにくい状態となりました。品種ごとの草勢やネット発生について、大きな差は無くできた印象です。 登熟日数55日を目安に随時収穫し、8月8日までは栽培終了し片付ける予定です。

イチゴ		
		6月21日にクラウン温度制御試験区も調査を終了し、全ての区画が栽培終了となりました。 次作の定植は、早期定植試験の7月下旬を予定しています。

① 第4 J ② ココバッグによる多収技術開発
栽植密度・葉面積管理試験 ③ 2023/10/6 ④ 4月頃植替予定

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/8/18 ④ 試験終了

キュウリ		
		2023/10/6定植。ココバッグは2年目になります。品種は埼玉原種の「S-40」を栽培し、栽植密度と葉面積の最適値を検証する試験を行いました。 6/月上旬で栽培終了。収量は1反換算で約39トンとなりました。葉面積や栽植密度による収量差は認められず、それ以外の要素が収量の限界を決めているものと思われます。 次作は10月初旬定植、複数品種での比較試験を計画していますのでご期待下さい。

高糖度ミニトマト		
次作準備中		【試験結果】 高糖度トマト専用の肥料処方を使い、給液EC2.0からスタート。11月以降は給液EC5~6まで上げ、排液ECは20.0以上となるように管理してきました。春以降は給液ECを4.0程度まで下げて、給液量も増やして排液を出す管理に切り替えました。最終盤の7月は高温から糖度が低下しましたが、それに加えて品種により裂果や黄変果の多発が見られました。次作は品種ラインナップを変えて引き続き高糖度ミニトマトの試験を継続する予定です。



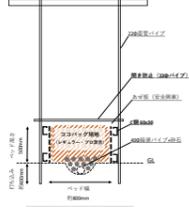
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② スイートコーン品種比較試験 ③ 1作目 3/15 2作目 4/15 ④ 試験終了

スイートコーン		
次作準備中		<p>【試験結果】 3月播種の作型では序盤の低温によりやや生育が遅れましたが、その後は順調に生育しました。4月播種の作型では、後半の高温により熟期が早まったのと最後に害虫被害がやや多く発生しました。</p> <p>次作はキャベツ品種比較栽培を行います。</p>

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス		
		<p>アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。柵板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。空きハウスで無加温作物の一つとして提案できれば面白い。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。</p> <p>収穫は2月から始まり、5~6月が収量のピークに。7月以降は温度が高すぎるのか、やや収穫量は減りましたが、継続して収穫はできています。</p>

① 第8 ② 大玉トマト高糖度栽培試験 ③ 2023/8/18 ④ 試験終了

高糖度トマト		
次作準備中		<p>【試験結果】 「高糖度トマト安定生産技術開発」の3年目になります。今作は増枝による増収技術の確立を目指す試験を行いました。年内と年明けに増枝した区は個数は多いものの玉が小さく、残念ながら大幅な増収にはなりません。高ECIによるストレス環境下での増枝は負担が大きく、それに耐えられる品種選定や環境管理が必要と考えられます。</p>

① 第1 Q ② コマツナ品種比較試験 ③ 2024/8月上旬 ④ 2024/9月上旬

コマツナ		
7月22日に調査を行いました。		次作は8月上旬播種を予定しています。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp